

# 国際交流員(CIR)活動ページ



2017年3月号 No. 88 レポート：国際交流員 リュウ テイ

## 三寒四温の二月に、ナンコ大会が開催されました！



激戦中



決戦を見守る観戦者



満面の笑顔をした参加者



国際親善賞を受賞した第一工大中国留学生のカクさん

2月4日(土)、清姫温泉で国際親善ナンコ大会が行われました。霧島市国際交流協会主催のイベントで、霧島市在住の外国人と市民の方々、合わせて27名の参加者がありました。美味しい料理をいただいた後、さっそく対戦が始まると、空気がガラッと変わり、参加者の方々は真剣な顔をし、激戦に没頭しました。しかし、徐々にうち解けて大きな笑い声やため息、ガッツポーズをする方など、大変な盛り上がりでした。ルールは簡単ですが、心の強さが必要

となるゲームです。初めて体験するALTや留学生の方々もすぐに要領を覚え、見事な実力を発揮し、次々と決勝進出を決めました。最後に、日本人女性の方が群を抜いた読みで、チャンピオンになりました。年に一度、初春のイベントであるこのナンコ大会ですが、歓談と笑いの夜になりました。新年度に向けて、このイベントが新しい力にもなったのではないかと思います。さあ、みなさん、新年度も頑張りましょう！



## 初午祭

2月19日(日)、ALTや留学生、霧島市国際交流協会会員の皆さんが鹿児島神宮の初午祭に参加しました。当日は晴天に恵まれ、すっかり春の気配を感じる日となりました。皆さんは「鈴かけ馬」の後ろで太鼓や三味線に合わせて踊りました。さすが460年以上の歴史と伝統を誇る行事だけであって、当日は多くの観客が訪れていました。午後4時半の終了までずっと賑わいが続く盛大な祭りでした。初午祭は五穀豊穡、畜産奨励、厄払いを祈願する祭りだと聞いています。踊り連の方々の元気で素晴らしい踊り姿を見て、幸せな生活への憧れと情熱に心を打たれました。今回のイベントを通し、地元の伝統行事をよく知ることができただけでなく、日本人の方々と触れ合いとコミュニケーションもできて、非常に有意義な一日になったようです。

中国では国運隆盛や国民健康を祈るために天に祭るイベントもかなり多いですが、霧島市の初午祭のように一般市民も踊って楽しむ参加型のものはほとんどありません。見物するだけでは、臨場感がなく、ちょっと残念ですね。帰国後にぜひ霧島市の初午祭を友人や知人に紹介していきたいと思います。